

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	くれよん（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	令和6年10月21日		～ 令和6年11月1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17名	(回答者数) 10名
○従業者評価実施期間	令和6年10月21日		～ 令和6年11月1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 24日		

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができている。	連絡帳を活用し、お子さんの健康状況や様子をご家族とくれよんで共有できている。	・SNSの活用で、ご家族にくれよんでの取り組みやお子さんの様子をわかりやすくお伝えできるように検討していきたい。 ・月に1度でもご家族とお会いできる機会を、ご家族と相談しながら作り、発達について共通理解に繋げていきたい。
2	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援を提供している。	・保護者の方から、利用の前にお子さんの好きなこと興味のあること、苦手なことを聞かせていただき、日々の支援に活かすことを意識している。 ・お子さんの特性を理解し、個別対応、集団での対応などを職員間で話し合っている。	お子さんの力をさらに発揮できるように、アセスメントシートを活用を取り入れ、支援を組み立てていきたいと考えている。
3	定期的な面談を実施し、「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明を行っている。	年に2回、個別支援計画の内容を詳しく説明し、ご家庭での様子、子育てについてなど聞く機会を設けている。また、送迎時にご家庭での大変さや子育てや進路についてなどを聞かせて頂いている。	電話連絡で、ご家庭での様子やくれよんでの取り組み、幼稚園、保育所の様子などを聞かせていただく時間も定期的に行ってみたいと考えている。また、ご家庭で取り組みそうなことを一緒に考えさせていただく機会も作ってみたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会を設けることができていない。	どのような方法で、地域の他の子どもとの交流を図ると良いか、検討する機会を作っていなかった。	保育所や幼稚園の先生に相談し、どのような形だと、無理なく交流できるか考えていく。
2	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信することができていない。	・SNSの活用をこれまで、検討していなかった。 ・職員一人当たりの業務の負担が大きく、担当を決めてはいたが、通信を発行する事ができなかった。	今後は、個人情報の取り扱いにも留意しながら、どのようにSNSを活用していけるか、検討していきたい。
3	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定されているが、保護者の方に周知・説明ができていなく、発生を想定した訓練の実施ができていない。	事業所にてマニュアルは策定しているが、周知、説明の場を作ることができていない。 様々な事故や感染症を想定した訓練を実施できていない。	・面談の機会を活用し、各種マニュアルの周知や説明を行ってみたい。 ・利用人数が多い日に緊急事態に備えた訓練を計画的に行い、記録を残し、保護者に報告をしていきたい。

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 くれよん（児童発達支援）

公表日 令和 7年 3月 28日

利用児童数 17名

回収数 10名

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8			2		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	7	1		2		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8			2		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8			2		
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8			2		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9			1		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8			2		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9			1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8		1	1		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	5	1	1	2		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8			2		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	10					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	1				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9			1	連絡帳等、詳しい様子を共有していただき、有難いです。	今後ともお子さんの様子を共有させて頂いたら嬉しいです。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	1		1		
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7			3		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	6	1		3		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5		1	4	・聞いたことがない（2件）	・各マニュアルをもとに、対応の練習や訓練を行い、ご家族へ周知できるよう努めていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5		1	4	・聞いたことがない（2件）	・年に2回、夏と冬に避難訓練を行っています。ご家族に詳しく様子をお伝えできるように方法を考えていきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9			1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6			4		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	9	1			行く時には泣いてしまいが、くれよんでは楽しく過ごせていると思います。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	9	1			通所を楽しみにしている様子で、先生方の関わりのおかげだと思います。	ありがとうございます。子どもたちがこれからも楽しく通えるように、また、保護者の皆さまが安心してお子さんを通わせられるように、今後も運営していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	9			1	いつも親身になって支援していただき、感謝しています。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	くれよん（児童発達支援）				公表日	令和 7年 3月 28日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		行動面などで個別に丁寧な支援が必要なお子さんのスペースが確保できている。	定員だけでなく障がい程度なども考慮した空間の確保があると良いと思う。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	3		・どちらともいえない。 ・個別に丁寧な対応が必要なお子さんが増えているが、職員一人で複数のお子さんを支援せざるを得ない現状がある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	3		玄関がバリアフリーになっており、段差がないため、靴の脱ぎ履きが難しそうなお子さんがいる。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1		掃除をより丁寧に行いたい、行き届かないことがある。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	1		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6			オンライン及び参集での研修会に、できる限り参加する。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	2		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		計画を基に、会議で話し合いが行えている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	2		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	2		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6				
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	2		送迎の兼ね合いで打ち合わせができないこともあるが、記録には必ず目を通してから支援に入るようにしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2		送迎の兼ね合いで全員では行えないが、できる限り話すようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6				
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6				
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6				
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6				
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6				
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6				
	28	(28～30は、センターのみ回答)					
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答)		4			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。					
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		5			今は機会がないが、保育所の見学時に困り感のありそうなお子さんを数名見かけたので、今後機会をつくれたら良いと感じる。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5					
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1			令和7年度開催に向け準備をすすめ、多くの方に出席していただきたいと考えている。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5					
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5					
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5					
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5					

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	3	茶話会や秋祭りの親子行事などを行い、交流する機会を作ることができた。	兄弟での交流は行ったことがない。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	3		連絡帳で様子は伝えているが、細かく伝えられないことも多い。SNSやアプリの活用で、手軽な方法でできると、細かく数多くご家族に伝えることができると思われるため、検討したい。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4	関係機関の方には秋祭りや、保護者学習会などの行事の際にお声がけできた。	地域の方を招待する行事などは出来ていない。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1	・マニュアルを作成している。 ・予定表で訓練の日程・内容は伝えられている。	実施後の報告や周知を引き継ぎ等で行っている。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	1		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1		保護者からの聞き取りにより、除去等の対応をしている。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		会議で、周知報告を行っている。	会議にて再発防止に向けた検討の時間を十分にとり改善を図っていく。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6				